

北陸信用金庫

◎ 事業所概要

企 業 名：北陸信用金庫
代表者氏名：理事長 石田 雅裕
所 在 地：金沢市玉川町 11 番 18 号
業 種：金融業
労働者数：166 人



◎ 行動計画

- 1 計画期間 平成 27 年 8 月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日
- 2 内容
目標 ○計画期間中の女性の「育児休業」取得率は、引き続き 100%とする。
なお、実績を下回る場合でも最低 75%以上となることを目標とする。

○計画期間中に男性の「育児休業」または「子の看護休暇」取得者の実績があることを、引き続き目標とする。

○計画期間中に引き続き「育児休業」、「育児休業給付」、「産前産後休業」等の子育て支援制度の周知活動を行う。

◎ 認定取得に向けた取組状況

- ・ 育児休業中の職員に庫内報「ほくしんだより」と相談窓口への相談票を毎月郵送し、休業中も充実した情報交換ができる環境を整え、スムーズな職場復帰を支援した。その結果、計画期間中の女性の育児休業取得率は 100%（8 人／8 人）であった。
- ・ 庫内報「ほくしんだより」において、育児休業、育児休業給付金等の制度についての周知や、病児・病後児保育の施設紹介を行った。また、ワークライフバランスのコーナーにおいて、職員の子ども紹介や、仕事と育児の両立についてインタビューした内容を掲載し、組織全体に育児やワークライフバランスへの理解を促した。
- ・ 平成 27 年、28 年度は月 1 回以上のノー残業デーを年間で計 15 回実施。平成 29 年度からはプレミアムフライデー制度（毎月第一金曜にノー残業デーを行うこと）を導入し、ノー残業デー実施を含め、27 回実施。
- ・ 計画期間の前から導入しているリフレッシュ休暇（3 営業日連続で取得する年次有給休暇）において、全店舗の店長及び部長に対しリフレッシュ休暇計画表の作成を促し、計画的な取得を促した。

企業からのひとこと

- 行動計画に基づく取組にあたって工夫した点
 - ・ 育児に直接参加していない職員にも関心を持ってもらうことを意識しました。仕事と育児の両立支援に関するだけでなく、所定労働時間の削減や、年次有給休暇の取得促進などの働き方の見直しにも力を入れました。平成 29 年度からは、当金庫オリジナルのプレミアムフライデーとしてのノー残業デーを推奨し、従来からのノー残業デー実施を含め、年間で計 27 回のノー残業デーを実施しました。

- 行動計画に基づく取組の効果・課題
 - ・ 庫内報で定期的に周知することにより、「育児休業」や「子の看護休暇」について、制度の理解と普及の促進を図ることができました。第 2 回目のくるみん認定を受けたことを機会に、引き続き、仕事と家庭の両立に向けて、ワークライフバランスの推進に取り組んでいきたいと考えています。

- 育児関連休業を取得した男性社員の声
 - ・ 夫婦共働きのため、子どもが風邪をひいたときには自宅近くに住む妻の両親を頼ることが多いのですが、今回は子どもがインフルエンザにかかったため「子の看護休暇」を利用しました。妻の実家には子どもと同年代の姪もいるため、この制度のおかげで、自宅で子どもを看護することができたので、とても助かりました。
夫婦で協力して子育てする上でも、大変有効な制度であり、積極的に活用すべきだと思います。
（事務部、44 歳）